

NO. 2340 【府岳連主催金剛山集中登山】

2012年11月11日（日）雨

参加者：岡崎（L）、藤本、岡本（記）

<行程・時間>

9：45 金剛登山口→タカハタ道→11：50 山頂広場（昼食、自由行動）→
13：00 府岳連挨拶、各グループ山行報告等→13：45 解散→千早本道經由→
14：45 金剛登山口

本例会は、府岳連66周年記念イベントの金剛山集中登山の一環として実施、岡崎さんは主催者側の指導員、藤本さんと私は加盟団体のメンバーとして参加。総勢120～30人が、10コース（他に隠しコース1つ）に分かれ、山頂広場を目指し登る。

出発時間には少し早いですが8時50分頃3人は登山口で合流、出発予定の9時30分頃まで時間を潰す。我々は第3グループとして、タカハタ道より山頂広場を目指す。メンバーは24名ほどだが、点呼などに手間取り、予定より15分程遅れて出発。雨が降ったり止んだりの生憎の天気である。

コースは、個人的には何度も歩いており、特に印象はないが、10分程車道を歩き、コース前半は沢道、残りは杉の植林地帯の尾根道となる。普段は1時間程度で歩くコースだが、今日は年配の女性も多く、人数も多いことからゆっくり歩く。気温は意外に高く、寒さ対策として厚着をしてきたので、ゆっくり歩いているにも関わらず結構汗が出る。

金剛山は、今が紅葉の見頃で、沢コースではモミジやクルミ・ブナ系の紅葉が綺麗だ。しかし、天気が悪く、沢も薄暗く今ひとつ色が冴えない。尾根に出ると、植林の隙間から美しい紅葉の遠望もあり、天気が良ければ、と、少し恨めしく思われる。

何となくダラダラした気分で歩いていると、いつの間にか山頂広場に到着だ。雨も一時的に止んでいるようだ。霞みに包まれた大阪平野もよく見える。まあ、一日中雨の天気予報の中では上出来だ。取りあえず昼食を取るための場所を確保する。

流石にこの時期だけのことはあり、食事を始めると汗で濡れた分、寒さを感じられるようになる。最初はベンチでじっとしていたが、1時間もこのままでいると風邪を引きそうなので、取りあえず社務所横の茶店に入る。存外中は広く、中央にストーブが置いてあり暖かい。こうなると一杯いきたくなるが、府岳連行事でもあり、仕方無く甘酒を飲む。

再び1時前に頂上広場に集合する。雨で寒いこともあり、主催者側も短い挨拶で終わる。その後各グループの山行報告を聞き、解散だ。車を金剛登山口に置いてあることもあり、3人で千早本道を下る。

千早本道は、標高差約600mほぼ全てが階段状の道だ。良く整備され、所々ブナを中心に紅葉の綺麗な箇所もあり、中々趣きのある登山道だ。ただ、延々と階段状の道が続く為、膝が弱いと閉口するような道だ。最後に少し遠回りになるが千早城跡を通っていく。神社が有り、ここの境内の紅葉は美しい。また、古い土産物屋の跡など、中々雰囲気の良いところだ。最後に滑りそうな急な石段を下ると金剛登山口のバス亭に到着だ。慣れ親しんだ山であるが、のんびり登るのも中々乙なものだ。

以上